破りなラブストーリー、これは真実の物

本年度アカデミー賞®最有力作品

FOX2000ピクチャーズ提供 トゥリー/ライン・フィルム製作andキャットフィッシュ製作 ジェームズ・マンゴールド監督作品 ホアキン・フェニックス リーズ・ウィザースプーン "WALK THE LINE" ジニファー・ヴッドウィン ロバート・パトリック 音楽 T・ボーン・パーネット 音楽製作総指揮 T・ボーン・バーネット 衣装 アリアンヌ・フィリップス 編集 マイケル・マカスカー 美術 デヴィッド・J・ボンバ 撮影 フェドン・パパマイケル、ASC 製作総指揮 ジョン・カーター・キャッシュ アラン・C・プロムウウィスト 製作 キャンー・コンラッドandジェームズ・キーチ 原作 "MAN IN BLACK"および "CASH THE AUTOBIOGRAPH" ジョニー・キャッシュ

ちぎれた心をつないだのは、ギターの弦と彼女の愛

真に、彼は大地とカントリーそのものであり、 心と魂を具現化していた

―ボブ・ディラン「ローリング·ストーン」誌より

彼は、世代を超えて全ての人々に影響を与えた。 私は彼を、歌手として、 作詞作曲家として敬愛している ――ミック・ジャガー

聖ヨハネ以来、彼のような原野の叫び声は存在しなかった ――ボノ・IJ2 「エッセンシャル・ジョニー・キャッシュ」のライナー・ノーツより



1950年代、エルヴィス・プレスリーらと共に、ロカビリーの黄金時代を築き上げたジョニー・キャッシュ。トレードマークの黒いシャツに反逆 児のイメージをみなぎらせ、虐げられた者たちの心の叫びを歌いあげた彼は、ボブ・ディランやブルース・スプリングスティーンの先駆的なアーティストとして、死後2年を経たいまもカリスマ的な人気を誇っている。

本作は、そんな伝説のミュージシャン、ジョニー・キャッシュと、運命の女性ジューン・カーターとの10数年におよぶドラマチックな愛の軌跡をみつめた物語。ドラッグによって栄光と挫折を経験したあと、奇跡のカムバックを遂げるジョニーと、シングル・マザーとして強く生きるジューン。幾多のすれ違いを繰り返しながら、育んできたかけがえのない友情を、かけがえのない愛へと昇華させていく。そんなふたりが歩んできた道のりを、真実のドラマだけが放つ熱い感動に包み込んで描いた本作は、本年度アカデミー賞最有力候補の呼び声も高い"トゥルー"ラブ・ストーリー。

ジョニー・キャッシュを演じるのは「グラディエーター」のホアキン・フェニックス。最愛の兄の死のトラウマ、心の通わない妻との生活、そして、ジューンへの満たされない思いなどの葛藤から、ドラッグに逃避してしまうジョニーのやるせない心情をナイーブに演じる。さらに、ジューンの友情を糧に人生のどん底から脱し、アーティストとして再生の道のりを力強く歩んでいく場面では、ワイルドな魅力を輝かせる。そして、同じくアカデミー賞候補確実と言われているのが、ジューン・カーターに扮するリーズ・ウィザースプーン。「キューティ・ブロンド」シリーズでは、キュートなコメディエンヌぶりを発揮していた彼女だが、今回は、女として生きるか、母として生きるかで揺れ動くジューンを繊細に演じつつ、ジョニーに救いの手をさしのべる場面では、すべてを包み込むような温かさを発揮して、ドラマの感動をリードしていく。また、ホアキンとリーズが、劇中の歌のシーンをすべて自分たちの声で歌い、その歌唱力と表現力には、誰もが感嘆の声をあげずにはいられないだろう。監督は、「17歳のカルテ」や「"アイデンティティー"」で、高い評価を得たジェームズ・マンゴールド。



監督:ジェームズ・マンゴールド/ 脚本:ギル・デニス & ジェームズ・マンゴールド / 音楽:T・ボーン・バーネット / 衣装:アリアンヌ・フィリップス 出演:ホアキン・フェニックス/リーズ・ウィザースプーン/ジニファー・ゲッドウィン / ロバート・パトリック サントラ盤:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル 2005年/シネスコ/SR・SRD・DTS・SDDS / 上映時間 136分 / 字幕:戸田奈津子 配給:20 世紀フォックス映画 www.foxjapan.com

2月18日(土)、型破りな 愛のロードショー!!

フジテレビ前・アクアシティお台場 お台場シネマメディアージュ 03(5531)7878